

【スリランカの皆さんによる双葉町の皆さんへの支援活動サポート報告】

2013年3月12日（火）

特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク

【経緯】

栃木県小山市在住のスリランカ人アドハム氏より、とちぎボランティア NPO センターへ相談の電話が入った。「東日本大震災直後に被災地に入りボランティア活動をした経験がある。震災から2年が経つ今、今度は物資の支援というかたちで被災地の役に立てればと思いい相談した」という内容である。

2月14日（木）、とちぎボランティア NPO センターからうつくしま NPO ネットワーク（以下、当会）へ橋渡しがなされ、以後、当会対応となる。

3月4日（月）、アドハム氏に当会小原田事務所へ来所いただき、今回の支援に関して具体的な内容をうかがう。以下、詳細である。

- ・3.11 後に陸前高田、仙台、いわきなどに入り支援活動をした。
- ・スマトラ沖地震（2004年）の際、日本から多大な支援を受けたので恩返しをしたい。
- ・今回は物資の提供というかたちで被災者支援を考えている。
- ・できれば被災者に支援物資を直接渡したい。
- ・被災者訪問は3月11日（月）、震災があった日を希望。
- ・支援物資はマスクと消毒用アルコールを考えている。
- ・15～16名（増える可能性あり）で参加したい。
- ・訪問の際はハイエースや乗用車など、車数台に分乗。
- ・物資を渡した後、短い時間で構わないので被災者の方と直接お話をしたい。

※アドハム氏自身は栃木県小山市在住だが、茨城県や千葉県なども含めた関東一円のスリランカ人のネットワークに所属している。このネットワークはもともとスリランカの政治団体 UNP（United National Party）を母体としているが、日本では政治や宗教などを越えた立場でボランティア活動を行っている。

以上の希望を受け当会で検討・調整した結果、双葉町の避難者を支援対象に3月11日に支援物資贈呈式を開催することとなった。双葉町富田町若宮前応急仮設住宅の自治会長の小川氏、及び双葉町社会福祉協議会の協力を仰いだ。

【スリランカの皆さんによる双葉町の皆さんへの支援活動概要】

開催日時：2013年3月11日（月）11：00～12：00

開催場所：郡山市富田町若宮前応急仮設住宅集会所（双葉町）

出席者：在日スリランカ人（アドハム氏、他14名）

双葉町住民の方々

社会福祉法人双葉町社会福祉協議会

当会スタッフ（齋藤桂子、芳賀英貴）

11：00、定刻通りに支援物資の贈呈式を開会。スリランカの方、及び双葉町自治会長小川氏、それぞれからご挨拶をいただく。その後、双葉町社会福祉協議会のご協力のもと、スリランカの皆さんから双葉町の皆さんへの支援物資（マスク、消毒用アルコール、献花）の引き渡しが行われた。また、スリランカ人参加者の中に千葉県香取市にある蘭華寺のご住職がいらっしゃり、彼による簡単な読経、及びスリランカ人による合掌が行われる。

贈呈式終了後に双葉町の方々と交えての茶話会を設ける。スリランカの方々がスマトラ沖地震の際に日本から様々な支援を受けた時の写真を紹介したり、またユーモアを交えながらスリランカという国を紹介したり、終始和やかなムードで会が進んだ。

12：00、予定の時間となったので閉会。双葉町の方々も最初から最後まで歓迎ムードで、非常に雰囲気の良い贈呈式・茶話会となった。

以上

